

中野の区議会だより

198 平成18年(2006年)1月22日 編集・発行 / 中野区議会

〒164-8501 中野区中野4-8-1
 電話 3228-5585 FAX 3228-5693
 Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp
 ホームページ http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/



鷺宮・上鷺宮～中野を結ぶコミュニティバス「なかのん」

第4回定例会

商店街の活性化に関する 条例など33議案を可決

区議会は第4回定例会で、「中野区商店街の活性化に係る事業者の相互協力等に関する条例」など区長提出33議案を可決しました。また、教育委員会委員1人の任命に同意しました。

議案・陳情に対する討論

議案・陳情の審議にあたり、次の議員が討論を行いました。

《議案》

- 中野区一般職の任期付職員採用に関する条例の一部を改正する条例
賛成討論 奥田 けんじ (無所属) (審議結果 可決)
- 核拡散防止のためにブルトニウム抽出試験中止を求める意見書を国に提出することについて
賛成討論 むとう 有子 (無所属)
- 反対討論 大内 しんご (自・民) (審議結果 不採択)

《陳情》

核拡散防止のためにブルトニウム抽出試験中止を求める意見書を国に提出することについて

第4回定例会は、11月24日から12月7日まで開かれました。議案の審議に先立ち、初日から3日間、13人の議員が区政課題について、一般質問を行いました。この定例会では、「平成17年度中野区一般会計補正予算」、「中野区商店街の活性化に係る事業者の相互協力等に関する条例」、「中野区の債権の管理に関する条例」、「指定管理者の指定について」など、計34件の区長提出議案を審議しました。そのうち32件を全会一致で、1件を賛成多数でそれぞれ可決したほか、「中野区区民公益活動の推進に関する条例」を継続審査としました。また、教育委員会委員を任命したいとの提案が2件あり、そのうち沼口昌弘(ぬまぐちまさひろ)氏の任命について賛成多数で同意しました。陳情については、1件を採択し、3件を不採択としました。

主な掲載記事

区政をただす	2～5面
可決した議案	5面
陳情の審議結果	6面

@ 区議会各会派のEメールアドレス @

- | | |
|-------------|--|
| 自由民主党・民社クラブ | jimin.nakanokugikai@mbg.nifty.com |
| 日本共産党議員団 | jcp.nakanokugikai@mbg.nifty.com |
| 公明党議員団 | komei.nakanokugikai@mbg.nifty.com |
| 民主クラブ | min-ku.nakanokugikai@mbg.nifty.com |
| 無所属の会 | mushozoku.nakanokugikai@mbg.nifty.com |
| 市民自治 | siminjichi.nakanokugikai@mbg.nifty.com |

**中野区議会定例会(一般質問)を
ホームページで**

中野区議会では、JCN中野(シティテレビ中野)で、議会のテレビ放送を行っています。内容は、各議員の一般質問などの録画放送です。放送予定などは、決まり次第、中野区議会ホームページに掲載します。ぜひご覧ください。

お問い合わせは、区議会事務局
 (電話 3228 5585) まで

**中野区議会ホームページを
ご利用ください**

中野区議会では、いち早く区民のみなさまへ情報をお届けするため、ホームページを開設しています。会議録、委員会資料、議員紹介、区議会からのお知らせなどがご覧いただけます。ぜひご利用ください。

中野区議会ホームページURL
<http://kugikai.city.nakano.tokyo.jp/>

第4回定例会

一般質問

区政をただす



高床工事に支援を

自由民主党・民社クラブ 斉藤 金造

平成17年は8月、9月と2度の大規模な水害があった。区が治水対策に積極的に取り組むことは当然であるが、住民が浸水被害を受けないため、平成11年度まで行っていた、建物を高床構造とする建て替えに対する助成の復活、建築上の規制緩和などの支援が必要ではないか。

区長 中野駅周辺まちづくりにあつて、中野駅の駅舎や駅前広場の整備は最も重要な事柄のひとつであり、区としても一定の負担が必要であると考えている。一方、JRとの分担なども大きな課題であり、今後、都およびJRなどの関係機関と整備計画や費用負担などの協議を行い、早期整備が実現できるよう努めていきたい。

区長 浸水被害を軽減し、あるいは受けたいための建物の建て替えを促進するため、早期に区独自の高床工事助成事業を実施する。高度地区の見直しなど高床建物の高さ規制に関する緩和措置についても検討している。

中野駅整備の早期実現を

中野駅整備は、近隣の駅に比べ遅れている。今のままで、警大等跡地や南口など新たな開発による旅客の増加の受け皿となることは不可能で、駅舎や駅前広場の整備に早急に着手しなければならない。具体的に整備を進めるため、区が一定の負担をすることを明確に示した上で、JRなど

区長 15地域センターの



JR中野駅

窓口機能については、電子申請の充実、区施設やコンビニでの取り次ぎサービスを行っていきながら、5力所に集約し、小さな区役所実現を目指す。その他は、(仮称)区民活動センターへ転換し、地域活動の拠点としての充実を目指す。そのほか、(仮称)区民活動センターへ転換し、地域活動の拠点としての充実を目指す。そのほか、(仮称)区民活動センターへ転換し、地域活動の拠点としての充実を目指す。



利益最優先がもたらした耐震強度偽造事件を問う

日本共産党議員団 長沢 和彦

「構造計算書」の偽造により、安全が保障されないマンションなどが建設され、大きな問題となっている。区内には問題の指定確認検査機関や設計事務所が関与した建築物はどのくらいあるのか。6月に、民間の指定確認検査機関による建築確認には、行政にも責任があるとの最高裁判所の判決が出たが、区はどう受け止めるのか。今後の本件についての相談体制は。

区長 平成16年度に当該検査機関が確認処分をした区内の建築物は218件である。設計事務所が関係した建築物の有無は、調査中である。今回の事件は、先の最高裁判所の判決とは条件が異なり、比較は難しいと考える。共同住宅の居住者からの相談には、建築主や設計者などの情報提供により応じたい。

区長 65歳以上の単身世帯で平成17年度住民税非課税の公的年金収入266万円の方について、平成18年度の住民税額を試算すると5万3300円となる。この税額による国民健康保険料は、14万2964円、介護保険料は5万1千円となり、合計で18万6664円の負担増となる。

早急な水害対策実現を

区は東京都に対し、妙正寺川上流に都の公共用地を活用した貯留施設の設置を求めているが、緊急措置として、区の用地にも整備を検討すべ



妙正寺川(北原橋付近)

きではないか。区は災害廃棄物処理事業の補助を国に申請しているが、今回の水害の被災者に対し、8月に遡って家電4品の引き取り負担への補助措置を講じるべきでは。区長 都への貯留施設の要望は、区の用地の利用可能性を十分に勘案したものであり、ご理解いただきたい。遡っての補助金交付は、公平な処理が困難であると判断した。今後の水災害では、家電4品も含めて区で回収する。



高齢者への新たな住宅政策の展開を

公明党議員団 飯島 きんいち

新しい中野をつくる10か年計画では、高齢者アパートの廃止の考えが示された。入居者が現在の生活環境、人間関係を維持できるよう、近隣の住宅の斡旋に努め、差額家賃の助成や保証人の問題、引越費用も目線に入れた支援が必要と考えるがどうか。今後改定する住宅マスタープランでは、高齢者への良質な住宅供給方法をどのように考えているか。

区長 区内の賃貸住宅情報を基に入居者の意向に沿った住宅の確保、差額家賃や転居費用の助成が必要であると考えている。また、保証人にかかる新たな制度をつくり、支援していきたい。高齢者円滑入居賃貸住宅登録制度を活用し

環七地下調節池工事

年計画の財政フレームには含まれていない。今後、財源を確保して事業実施を担保すると思うが、その決意は。災害時に廃棄される家電製品は、廃棄物として国の補助金を導入し、迅速な処理と早急な生活復旧を図るべきと区長に要望を行った。関係法規の整備を含めたその後の対応は。区長 橋の架け替えの際に、拡幅分は区の負担になる。経費は、10か年計画のフレームに算定していないが、事業計画に併せ、対応していく考えである。今後は区が収集し、直ちに対応できるように、現在要綱の整備を行っている。中野、井草間のバス路線開設で、鷲宮地域の交通は一歩前進したが、上鷲宮三、四、五丁目、停留所が遠く、問題が残る。この路線の千川通りへの延伸と、中野、中村橋路線の富士見台への延伸を要望すべきではないか。地域センター機能の集約で、どの地域にも不便がないよう措置すべきではないか。都住宅供給公社の住宅建て替えに際し、周辺環境の整備と地域還元を要望すべきではないか。区長 乗り継ぎのない実現性の高い路線で検討した富士見台への延伸は、区としても要望していきたい。需要の多い証明書が手渡せるよう何らかの対応を検討したい。区長 区民参加のため



上鷲宮地域の課題解決を

民主クラブ 佐伯 利昭

整備予定の集会所が地域に開放されるよう要望していく。田中区政三年半の評価は、対話集会の参加者数が減少し、努力、費用に見合うか疑問だ。区長の目指す区民参加は実現したか。区民世論調査で、約80%が区政に無関心との結果が出た。区長の率直な感想は。幹部職員の再就職について厳しく指摘してきたが、兼任だった社会福祉協議会事務局長と常務理事の職が別々になった理由は。区幹部職員OBの指定管理者への再就職、OBを役員に置く事業者の指定管理者応募制限などを条例化するべきでは。区長 区民参加のため



鷺宮体育館

は、協議会独自の判断による。公民癒着の批判を受けないよう倫理基準が必要と考える。

スポーツができる環境をスポーツ施設の数について区の認識は、学童クラブと児童館の学校への取り込みと、校庭・体育館の地域利用についての区の認識は、教育長 健康づくりや子どもへの体力向上の重要性を考えると、必要と考える。

に、議論の機会を保障するし、くみを整えてきた。要望が不採用の場合にも、十分理由を説明し、参加の実を感じられるよう努めてきた。「手ごたえのある区民参加」は着実に進んでいると考える。調査結果は残念であるが、工夫して、関心を呼び起こしたい。

事務局長は、依頼により退職職員を紹介した。常務理事



子育て支援は三者関係でデザインを

無所属の会 奥田 けんじ

区の子育てサポート事業は、NPO主体で実施されており、今後の事業展開が期待される。しかし現状は、サービス提供者と利用者の二者関係による運営形態になっている。多摩市では、行政・利用者・企業の三者により事業が展開され、全ての関係者が互いに高め合い、利益のある関係づくりが行われている。区も三者による複眼的な分析を行い実施してはどうか。

区長 子育て支援は、多様な形で準備され、さまざまな担い手によって活動が行われている。サポートルームに



東京工芸大学中野図書館

の専門書籍を所蔵している。大学も生き残りを受け、地域との共生を迫られており、既に、区民への閲覧を開始した互いの事情を考慮し、連携を深める価値は十分にあり、市民に選ばれる自治体であるための一つの重要な要素にもなりうる。東京工芸大学の図書館の開放に向けて、どのような取り組みを考えているか。

教育長 本町図書館などで利用案内をしており、今後も区民に情報提供していきたい。また、東京工芸大学は、地元の大学であるので、相談があればよく話を聞いていきたい。フィルム・コミッション

区長はコンテンツ産業の育成と言っているが、その育成には、文化・歴史の背景が必要となる。東京工芸大学にはクリエーターの卵が通っている。このコンテンツの宝庫を活用し、学生・地域・行政の三者により、全ての関係者にとって利益のある産業育成を図ってはどうか。ゆくゆくは「中野フィルムフェスティバル」と銘打ち、ショートショート映画祭、映画作成実習など地域密着型のイベントも可能である。このようなフィルム・コミッション事業を積極的に推進すべきではないか。

区長 テレビや映画の撮影場所についての相談や、公園や区有施設などの使用許可申請の窓口紹介などを行って

いる。今後もちょうじた需要に的確にこたえていきたい。



障害者自立支援法 成立による区への影響は

市民自治 佐藤 ひろこ

利用料減免など、複雑な制度の情報提供や本人の意向を尊重したプランづくりのために、ケアマネジメントをしっかりと行える体制にすべきではないか。二丁の高齢移動支援事業は、必要な人に制限なくサービスを提供すべきでは、障がい者が重くても誰もが安心して暮らせるように、事業に取り組む区の姿勢と区長の決意は。

区長 当面、現在の障害担当のケースワーカーをあてる予定だが、民間の人材の育成や委託の仕組みも検討していきたい。効率的・効果的な提供の仕組みを工夫し、必要なサービスを確保したい。自治体の責任として区の体制整備を図り、制度を運営していきたい。

介護保険法改正による区への影響は

介護保険料見直しでの考案方は、地域支援事業の介護予防サービスは、練馬区や世田谷区の認知症予防の取り組みを参考に、地域の人材を生かして地域展開してはどうか。地域密着型サービスの整備計画と準備状況をさらに精査し、長期的な展望に立ちつつ低所得の方にも配慮した適切な金額に設定したい。地域包括支援センターのマネジメントを中心に、区が事



幼稚園で遊ぶ子どもたち

業者への支援を行いたい。希望の持てる幼児総合施設を

10年計画で、区立幼稚園を幼児総合施設とする案が示された。自由な教育理念を生かし、子どもの育ちの場、乳幼児親子の地域の拠点として持続できるような運営の転換が必要だ。どのような園づくりを検討しているか。

区長 幼児総合施設は、保護者の就労の有無にかかわらず、発達段階に応じた教育・保育の一体的な実施を基本に、子育て家庭への相談支援や乳幼児親子の交流の場など新たな機能を加えた総合施設であり、区民の多様なニーズに的確にこたえられると考える。



区独自の少子化対策を積極的に打ち出せ

自由民主党・民社クラブ 伊藤 正信

中野区では少子化が急速に進行しており、その大きな理由に経済的な負担感がある。区独自の少子化対策として児童手当の充実が考えられないか。また、次世代育成支援行動計画には多くのサービスが載っているが、本来、子育ては家庭で行うものであり、自分の力で生活を築き、社会に貢献できる人間を育て増やすような取り組みに力を入れるべきと思うがどうか。

区長 経済的支援は、保護者や子どもの置かれた状況を勘案し、適切に効果的な方



放置自転車(新中野駅付近)

新たな手法で駐輪場整備を区内で4番目に乗車人員が多い新中野駅には、自転車駐輪場がなく、自転車が路上にあふれ、美観を損ない、通行や地元商店街での買い物客の障害となっている。新たな自転車駐輪場整備に向け、旧消防署跡地の活用は検討したか。また、杉山公園交差点改良工事にあわせて用地確保や、民間の時間貸し駐輪場の一部を取得し設置してはどうか。

区長 旧消防署跡地は駅から遠いなどの理由により、計画化を見送った。杉山公園の交差点改良工事にあわせて自転車駐輪場整備や、土地所有者への個別の働きかけによる、民間の自転車駐輪場の可能性も含め検討していきたい。



無制限の民営化・民間委託に歯止めを

日本共産党議員団 江田 とおる

区長は、職員削減のため民営化・民間委託を一層進めるとしているが、このまま進めば区が蓄積した技術や指導力をなくし、その被害は区民に及び、民営化してはいけない分野を明確にすべきで

は、公務労働が民間と違う点、目的が利潤の追求でなく住民の福祉を増進することにある。職員が共通の理念を持って協力し、意欲を高め、力をつける中で成果が上がる。個人の成果を競う「成果主義」

の徹底は、職場に摩擦を生むのではないかと。区長 政策形成など、行政にしかできないことは当然ある。それを絞り込んでいく一方、行政が独占してきた公共サービスでも、民間の活動にゆだね、サービスの向上や多様化を図ることが求められていると考えている。成果主義に基づく個人目標の達成は、住民サービスや区民満足度の向上に資するものであり、公務労働の目指す住民福

社の向上と一致している。
30人学級の早期実現を

文部科学省の調査では、
子どもの生活面や教師の指
導方法などの面で、少人数
指導より少人数学級の方が
効果的としている。少人数
学級について、真剣に検討
すべきでは、小学1年生が
学校生活になじめるよう、指
導補助者の配置などを考え
べきと思うがどうか。

教育長 調査は、いずれ
かの優劣を示したものでな
い。教科の特性に応じて柔軟
に対応できる、少人数指導の
充実に取り組んでいく。現
在の体制の中で、学校の工夫
で対応していく。

学校再編は十分話し合いを
「小規模校の良さを認め
て」という仲町小学校関係者
は、再編計画に納得がいらず



小学校の教室

今でも反対している。誠意を
持って話し合うべきでは。
野方小に沼袋小を統合する計
画では、運動場一人あたりの
面積が、現在の半分の約4㎡
と最低になる。教育条件を今
より良くするために、施設の
整備基準を設けるべきでは。

教育長 仲町小学校の関
係者には、何度も説明の機会
を持つように努力してきた。
今後必要な話し合いは行っ
ていく。建て方の工夫によ
り、現状より広い約3千㎡の
校庭面積を確保でき、運動場
としての機能は確保できる。



発達障害児に対する 具体的な支援策を

公明党議員団 やながわ 妙子

就学前から就学時へのス
ムーズな移行支援には、支援
室のようなコーディネート機
能や病院のカルテのような療

育カルテが必要だ。検討して
はどうか。就学前の障害児
の対応は、アポロ園のみであ
る。区内1カ所では十分な対
応ができない。分園的な機
能を南部方面に設置する必
要があるのではないかと。

区 長 子ども家庭支
援センターを調整機関とす
る連携支援体制をつくり、
成育や支援の記録を調整し、
保管・活用することを想定
している。療育機能の地



療育センターアポロ園

域再配置も含め、民間療育活
動の活用も視野に入れ、区民
の利用しやすい療育のあり方
を考えていく。
行政サービスの向上を

区庁舎一階の総合相談は、
カウンターの外に出て案内す
べきと思うがどうか。たら
いまわしをしない適切な案内
をするため、コールセンター
を設置してはどうか。

区 長 区民へ適切な案内
内をするため、カウンターの
外に出て、区民を迎える姿勢
を示すことが大切だと認識し
ている。効率化と行政サー
ビスの質の向上を推進するた
め、24時間ワンストップで対
応できるように努力してきた。
子ども医療費制度の拡充を

都は、国の児童手当の所得
制限が緩和されれば、制度の
趣旨に沿うよう適切に対処す
るとしている。都の所得制限
が緩和された場合、区の財政
負担軽減分を子ども医療費助
成制度の拡充にあて、中学3
年生までの入院費の無料化を
進めてはどうか。

区 長 今後、子ども医療
費助成制度がより利用しやす
い制度となるよう、周知など
に努めていくとともに、効果
的な支援のあり方を検討した
い。
南中野地域の避難場所に
おける早急な安全対策を

避難所となっている東大附
属と海洋研究所は、老朽化し
たコンクリート塀や方南通り
歩道の生い茂った樹木、南東

の角の隅切りができないなど、
安全確保上問題が多い。早急
な対策を講じるべきでは。
区 長 方南通り歩道の樹
木剪定は、早く行うよう都に



障がい者の就労支援を

無所属の会 むとつ 有子

区は積極的に身体障がい者
雇用に取り組み、公的機関の
法定雇用率2.1%を満たし
ている。しかし、ノーマライ
ゼーションの観点から見ると、
知的障がい者、精神障がい者
には就業機会の平等が保障さ
れていない。国において、知
的障がい者雇用が実現しよ
うとしている今、区は知的障
がい者や精神障がい者の雇用に
取り組むべきではないか。

中野区障害者福祉事業団では
常勤2人、非常勤3人で日々
頑張っておられるが、就労機
会の拡大のため、最低でも常
勤ジョブコーチも1人分の
予算をつけるべきではないか。

区 長 総務省が行ってい
る知的障害者の職場体験実習
事業の目的は、雇用の課題や
改善策の検討である。区とし
ては、燃焼管理と廃ガス処
理を適正に行うことにより、
環境や人体への影響につい
て法的規制を十分に遵守で
きる。
区民の慶事への
区の関与を問う
一区民の藍綬褒章の受章
に際して、区長が祝詞の
発起人となり、差出人・返



容器包装プラスチックの回収

申請される。コンクリート塀
の倒壊の危険がある場所や隅
切り設置については、早期改
善に向け、東大附属に要請す
るとともに、協議を進める。

信先・連絡先が区民生活部地
域活動担当となっているが、
一人の祝詞に区が組織とし
て関わるのは不適切ではな
いか。
区 長 今回の受章は、国
が町会・自治会活動を評価し



産業振興に対する 取り組みを強化せよ

自由民主党・民社クラブ 北原 奉昭

中野区の産業の9割を占め
る中小零細商店の沈滞は、区
民生活に不安を投げかけてい
る。助成金の費用対効果を
検証し、総合的な支援対策を
検討すべきではないか。全
区規模の商業調査を早急に実
施すべきでは。新たな活性
化事業の構築・推進に向け、
区が積極的にかかわる時期
にきているのではないかと。

区 長 今後は商店街
が、具体的なコンセプトを
もって、個性ある商店街づ
くりに取り組みが必要がある
と考える。中野区商店街
連合会が実態調査を計画し
ており、内容の検討や実施な
どに協力したい。具体的な
支援策は、商店街関係者と協
議し、検討したい。
国勢調査の意義を
改めて認識せよ



国勢調査の調査票と封筒



実技訓練やパトロールなど 子どもの安全対策を急げ

自由民主党・民社クラブ 大内 しんじ

17年10月に行われた国勢調
査について、区は今回、調
査票の提出を封入方式とした
が、記入漏れなどは、前回と
比較してどうか。調査員か
ら、どのような意見があった
か。5年後の調査は、個人

人を含む世帯などの世帯構成
の把握が困難なことや封入に
より無用なトラブルが回避で
きたことなどの声が寄せられ
た。社会のさまざまな動き
を踏まえた適切な方法により、
実施する必要があると考える。
区営住宅などの滞納家賃・
収入超過者問題を問う

区 長 収入超過者は33
世帯、高額所得者が4世帯で
ある。これらの世帯には、自
主的な退去・明け渡しを促し、
退去までは、近傍同種の家賃
額を基準にした使用料に切り
替えている。16年度末で、
区営住宅が22世帯で約683
万5千円、福祉住宅が18世帯
で約155万9千円、区民住
宅が17世帯で約340万3千
円である。滞納世帯へは、督
促状の送付、呼び出しによる
納付指導などを行っている。
現できるよう取り組む決意で
ある。区では、2年前に全
児童・生徒に防犯ブザーを配
付したが、その使用方法など
について、実際の場面を想定
した実技訓練を行うよう、全
小中学校に指示すべきではな
いか。パトロールカー仕様

の自動車2台を購入予定とのことだが、この車を、月曜から金曜の日中、区内南北の地域で、保育園や幼稚園、学校を中心に巡回させてはどうか。また、警察にも協力を依頼し、警察官OB職員を採用して取り組んではどうか。

教育長 区立幼稚園、小中学校に、改めて、防犯ブザーの携帯を徹底させ、適切に使用できるよう、実際の場面を想定して実技訓練を行うよう指導した。



防犯ブザーを持つ子どもたち

区長 パトロールカー仕様の自動車を購入することとしており、この活用方法については検討中である。また、警察官OBの活用については、パトロールを行う態勢や方法についての検討の中で、ひとつの考え方として検討する。

オリピック招致に賛同を
石原東京都知事は、2016年夏季五輪招致を正式に表明した。オリピックは、経済、社会全体に大きな波及効果を有する世界的なビッグイベントで、東京で開催される意義は大きい。区でも、東京

招致に賛同を表明し、積極的に取り組むべきではないか。
区長 趣旨に賛同しており、時代にあった、斬新で画期的な方たちでのオリピックを期待したい。



東京メトロ中野坂上駅に宝仙寺側出入口の設置を

自由民主党・民社クラブ いでい 良輔

中野坂上駅には一日6万人もの乗降客がいる。火災や災害時の避難を考えると、区は関係機関と連携し、出入口の設置問題を、一刻も早く解消すべきだ。また、中野新橋駅

と中野富士見町駅についても5年以内の緊急避難出入口の設置が求められていると聞く。東京メトロとの協議の状況はどうなっているか。
区長 国の基準改正に伴

い、原則平成20年度までに二方向避難路など火災対策を整備することが義務付けられた。区は、東京メトロと協議を進め、宝仙寺側出入口の整備を要請している。また、基準改正を踏まえ、沿線の民間ビルへの緊急避難出口併設の可能性を検討中と聞いている。

警察大学校等跡地に
警察大学校等跡地に、区民に有益な大学の誘致を

警察大学校等跡地には、いくつかの大学が立地を希望している。区民にとって真に有益な大学を選定すべく、区の意向を財務省に伝えるべきと考えるがどうか。**警大等**跡地と囲町との境界に東西方向の道路新設を求める陳情が採択されたが、警察庁宿舎の移転や建て替えなどの予定はあるか。また、町会、警察庁財務省など関係機関との相互理解と協力が不可欠だが、区は、どう取り組んでいるのか。

区長 中野駅周辺には、産学連携や保健福祉、情報発信機能を発揮する教育・研究機関の立地を誘導したいと考えている。財務省とは誘致の仕方や地区計画手続きなどの協議を行っている。警察

庁は現在の位置で宿舎を再整備する意向だが、囲町地区の将来のまちづくりを考えると、当該道路の設置は、囲町地区との境界に整備することが望ましい。区の計画や、財務省に要望した「土地利用転換計画案」の見直し案にも影響があるので、財務省との協議も含め、実現に向けて慎重に対応していきたい。



東京メトロ中野坂上駅

区長提出議案
平成17年度中野区一般会計補正予算(第4次)
歳入歳出にそれぞれ9150万3千円を追加し、予算の

第4回定例会

可決した議案

合計額は、938億4267万4千円となりました。
中野区の一一般職の任期付職員採用に関する条例の一部を改正する条例
専門的知識経験が必要な業

務について、任期付職員の採用基準などを定めます。
中野区の債権の管理に関する条例
区の債権の管理に関する事務について、必要な事項を定めます。

中野区勤労福祉会館条例の一部を改正する条例
勤労福祉会館の管理に関する事務を区が行うに当たり、規定を整備します。

中野区商店街の活性化に係る事業者の相互協力等に関する条例
商店街の活性化のため、商店会の組織基盤を強化し、地域社会の発展に寄与することを目的として、必要な事項を定めます。

中野区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例
10か年計画改定素案では、中野富士見町跡地には、民間活力を活用し、民間住宅を併設した総合公共サービスセンターを整備するとしているが、具体的な整備手法は、
区長 定期借地権制度を利用して土地を貸与し、民間が住宅と公共施設を整備するなど、区の負担ができるだけ少なくなる方策を考えたい。

中野区浄化槽清掃業の許可及び浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例
東京二十三区清掃協議会からの事務の移管に当たり、浄化槽保守点検業者の登録制度を廃止します。

中野区女性会館条例の一部を改正する条例
女性会館を男女共同参画センターとすることに伴い、設置目的、事業などの規定を改めます。
中野区立高齢者福祉センター条例の一部を改正する条例
堀江、鷺宮両高齢者福祉セ

中野区指定管理者制度を導入するに当たり、候補者の選定、管理の基準および業務の範囲を規定します。
中野区社会福祉会館条例の一部を改正する条例
指定管理者制度導入に当たり、指定管理者の管理の基準および業務の範囲を規定します。

中野区授産場条例を廃止する条例
高齢者就労促進事業施設に移行するに当たり、江古田授産場を廃止します。
中野区立高齢者デイサービス施設条例の一部を改正する条例
桃一、多田両高齢者住宅サービスセンターに指定管理者制度を導入するに当たり、管理の基準、業務の範囲および利用料金を規定するとともに、民間化のため南中野高齢者住宅サービスセンターを廃止します。

中野区知的障害者生活寮条例の一部を改正する条例
やまと荘およびやよい荘に指定管理者制度を導入するに当たり、管理の基準および業務の範囲を規定します。
中野区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例
借受けの資格の住所要件変更とともに、修学資金および就学支度資金にかかる貸付けの限度額を引き上げます。
中野区立公園条例の一部を改正する条例
区長の指定する公園に指定管理者制度を導入するに当たり、管理の基準、業務の範囲および利用料金を規定します。

中野区立妙正寺川公園条例の一部を改正する条例
指定管理者制度導入に当たり、管理の基準および業務の範囲を規定します。
中野区立体育館条例の一部を改正する条例
指定管理者制度導入に当たり、管理の基準、業務の範囲および利用料金を規定します。
中野区もみじ山文化の森施設条例の一部を改正する条例
指定管理者制度導入に当たり、管理の基準、業務の範囲および利用料金を規定します。
中野区区民ホール及び芸能小劇場条例の一部を改正する条例
指定管理者制度導入に当たり、管理の基準、業務の範囲および利用料金を規定します。
中野区区民ホール及び芸能小劇場条例の一部を改正する条例
指定管理者制度導入に当たり、管理の基準、業務の範囲および利用料金を規定します。

中野区教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例
教育長の給与の改定時期を調整します。
指定管理者の指定について堀江高齢者福祉センターの指定管理者を指定します。
指定管理者の指定について鷺宮高齢者福祉センターの指定管理者を指定します。
指定管理者の指定について桃二高齢者住宅サービスセンターの指定管理者を指定します。
指定管理者の指定について多田高齢者住宅サービスセンターの指定管理者を指定します。
指定管理者の指定についてやまと荘およびやよい荘の指定管理者を指定します。
指定管理者の指定について中野上高田公園、哲学堂公園および妙正寺川公園の指定管理者を指定します。
指定管理者の指定について中野区立幼稚園教育職員給与に関する条例の一部を改正する条例
幼稚園教育職員の給与を引き上げるとともに、給与改定の差額相当額の調整を行います。
中野区立幼稚園教育職員給与に関する条例の一部を改正する条例
中野区議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
議員の報酬の改定時期を調整します。
中野区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例
区長などの給料の改定時期を調整します。



陳情の審議結果

不採択

- (17) 第109号陳情 防災会の活動について 賛成少数
- (17) 第136号陳情 中野区在住の私立・国立小・中学校就学者等への情報提供について 賛成少数
- (17) 第143号陳情 核拡散防止のためにブルトニウム抽出試験中止を求める意見書を国に提出することについて 賛成少数
- (17) 第139号陳情 改正介護保険法による施設介護利用者等の居住費、食費の自己負担増について、中野区独自の負担軽減策を検討することについて
- (17) 第140号陳情 日本版N C I (癌対策センター) 設立について意見書を提出することについて
- (17) 第141号陳情 東京都の保育と子育ての13補助事業「再構築と交付金化は行わず、現行の補助を維持・拡充する意見書を提出することについて
- (17) 第148号陳情 区立みずのとう幼稚園存続を願う要望について
- (17) 第149号陳情 中野区立みずのとう幼稚園存続について
- (17) 第150号陳情 中野区立みずのとう幼稚園の廃止案について
- (17) 第151号陳情 区立みずのとう幼稚園廃案をもう一度検討する事について
- (17) 第152号陳情 中野区立みずのとう幼稚園存続について
- (17) 第153号陳情 新しい中野をつくる10か年計画について
- (17) 第154号陳情 中野区立やよい幼稚園の廃止案について

採択

- (17) 第138号陳情 二輪車駐車スペースの確保について
- 1 区の施設や主要駅前二輪車駐車スペースを確保して下さい。
- 2 商業施設や病院等の人の集まる民間施設に二輪車の駐車スペースを確保するよう区として働きかけて下さい。
- 全会一致
- 《区民委員会付託》
- (17) 第70号陳情 地域センターへの区職員の配置について
- (17) 第132号陳情 廃プラスチックの処理について
- 《厚生委員会付託》
- (17) 第18号陳情 高齢者の健康と生きがい増進に資する高齢者農園事業の拡充について
- (17) 第142号陳情 江原町1丁目18番のワンルームマンション建設計画について
- 《建設委員会付託》
- (16) 第31号陳情 旧農林水産省宿舍跡地に計画されている高層分譲マンションの建設について
- (17) 第137号陳情 区立みずのとう幼稚園、区立やよい幼稚園2園存続を願う要望について
- (17) 第144号陳情 区立みずのとう幼稚園存続を願うことについて
- (17) 第145号陳情 区立みずのとう幼稚園存続を願うことについて
- (17) 第146号陳情 区立みずのとう幼稚園存続を願う要望について
- (17) 第147号陳情 中野区10か年計画における区立幼稚園廃止案について
- (17) 第134号陳情 日本版N C I (国立癌研究所) を建設することについて
- (17) 第135号陳情 妙正寺川流域の防災対策について

継続審査

- 《区民委員会付託》
- (17) 第133号陳情 廃プラスチックの処理について
- 《厚生委員会付託》
- (17) 第18号陳情 高齢者の健康と生きがい増進に資する高齢者農園事業の拡充について
- (17) 第137号陳情 区立みずのとう幼稚園、区立やよい幼稚園2園存続を願う要望について
- (17) 第144号陳情 区立みずのとう幼稚園存続を願うことについて
- (17) 第145号陳情 区立みずのとう幼稚園存続を願うことについて
- (17) 第146号陳情 区立みずのとう幼稚園存続を願う要望について
- (17) 第147号陳情 中野区10か年計画における区立幼稚園廃止案について
- (17) 第134号陳情 日本版N C I (国立癌研究所) を建設することについて
- (17) 第135号陳情 妙正寺川流域の防災対策について

閉会中の委員会の動き

平成17年11月

- 総務委員会
 - 11/9 要求資料1件を審査、報告3件を聴取
 - 区民委員会
 - 11/15 報告5件を聴取
 - 厚生委員会
 - 11/14 陳情2件を審査、報告9件を聴取
 - 建設委員会
 - 11/15 報告3件を聴取
- 文教委員会
 - 11/14 報告4件を聴取
 - 議会運営委員会
 - 11/10 第4回定例会の日程などを協議
 - 11/17 第4回定例会の招集日の確認や日程などを協議

取下げ

- (17) 第134号陳情 日本版N C I (国立癌研究所) を建設することについて

中野区議会は、**虚礼等の廃止を決議しています**

贈らない
求めない
受け取らない

都に緊急要請

都区財政調整主要5課題の早期解決に向けて

平成17年12月14日に高橋議長、江口副議長が、杉並区、豊島区、板橋区および練馬区の各区議会の議長、副議長とともに都庁を訪れ、東京都に對し、都区財政調整主要5課題の早期解決を要請しました。また、都議会議長に、一層の支援を要請しました。

道路大会に参加

第16回東京都道路整備事業推進大会が、平成17年11月8日、日比谷公会堂で開催されました。

中野区からは、議長をはじめとする議員代表のほか、区長、関係職員などが参加しました。

大会では、国や都に対してより良い道路整備を求める宣言や道路整備財源の充実強化などを求める決議を行いました。

意見の分かれた案件(第4回定例会)

件名	会派名 (議員数)	【 : 賛成 x : 反対 : 退席 】					結果
		自・民 (16)	共産 (8)	公明 (8)	民主 (4)	無所属 (3)	
同意案件							
中野区教育委員会委員任命の同意について			x	x	-	x	同意せず
中野区教育委員会委員任命の同意について			x			x	同意
区長提出議案							
中野区一般職の任期付職員に関する条例の一部を改正する条例			x				可決
陳情							
(17) 第109号陳情 防災会の活動について		x		x	x	x	不採択
(17) 第136号陳情 中野区在住の私立・国立小・中学校就学者等への情報提供について		x		x	x	-	不採択

議員数は議長を除く
 会派の略称 自・民：自由民主党・民社クラブ、共産：日本共産党議員団、公明：公明党議員団
 民主：民主クラブ、無所属：無所属の会、市 民：市民自治

ご利用ください

本会議録画ビデオ
 本会議を傍聴できない方のために、平成17年第4回定例会本会議の様子を録画したビデオテープの貸出をしております。

ご希望の方は、区役所1階区政資料コーナーまで、
 声の区議会だより
 目の不自由な方のために、
 区議会だよりを朗読録音したカセットテープ「声の区議会だより」を発行しています。
 郵送により無料でお届けします。利用をご希望の方は、
 区議会事務局(電話32285585)まで。

また、地域センター、区立図書館、障害者福祉会館などで貸出もしています。
 視覚障害者の方へお知らせください。

第1回定例会のお知らせ

次回の定例会は、2月に開かれる予定です。詳しい開催日程などは、中野区議会ホームページの「区議会からのお知らせ」の中に掲載します。
 お問い合わせは、区議会事務局
 (電話3228 5585)まで

区議会を傍聴してみませんか

傍聴は、議会活動に触れるもっとも身近な方法です。本会議や委員会の傍聴は、どなたでもできます。傍聴を希望される方は、会議の当日、区

区議会だよりへのご意見、ご要望などは、区議会事務局まで

〒164-8501 中野区中野4-8-1
 電話 3228-5585 FAX 3228-5693
 Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakano.lg.jp

受け付けは会議開会の1時間前から、入場は30分前からになります。本会議は定員100人(ただし、椅子席は先着80人)、委員会は定員15人です。

本会議場や委員会室への携帯電話の持ち込みは禁止となっております。お持ちの方は、事務局でお預かりします。

傍聴についてのお問い合わせは、区議会事務局(電話3228 8870)まで。